



題字 井口 文章
再刊 第364号
印刷・発行 錦城高等学校新聞委員会 編集室 2021

みんなでつくる 錦城高校新聞

一面..2年生探究学習・学年レク実施!
1年生小論文講座を受講
二面..映画研究部全国大会進出決定!
受賞作品について取材しました

笑顔溢れる梅雨晴れの日

2年生代替行事開催

6月25日(金)に、2年生は中止となった校外学習の代替行事として、クラス対抗ドッジボール大会と選抜リレーを実施した。今号では午前中に行った探究活動「Iocus」の様子と、盛り上がりを見せた午後の学年レクの様子を紹介する。

午前中は探究活動実施

6月25日(金)に、2年生は1、2時間目と3時間目の前半を使って探究学習「Iocus」に取り組んだ。今回の活動は動画を挟みながらグループ内で話し合い、個人で取り組むかグループで取り組むかの選択や取り上げる地域について決めた。その後、実際に各自決めた地域の良しこ



相手めがけて渾身の一球を放つA組

り組むかグループで取り組むかの選択や取り上げる地域について決めた。その後、実際に各自決めた地域の良しこ



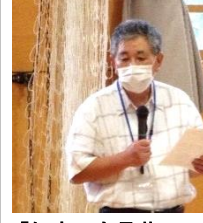
鋭いボールを投げるH組

た。和気あいあい話し合い、発表し合うことで地域への関心を深めた。

洗練された文章を書くために

1年生小論文講座開催

6月23日(水)の6時間目、ことや文の中に何回も「こと」を2体育館で1年生を対象に第2小論文について講義した小論文についての講演だ。講師は桐山書店の小島清志さん。



「何事にも言葉のアンテナを立ててください」

小論文において重要なことを「書いてはいけないものを知ることです」と話す。例を挙げると「すごい」「マジで」「半端ない」などの話し言葉や流行語、俗語などを入れる

小論文の上達のコツは、自分の書いた文章が相手に伝わるかどうかを考え、文の骨組みを作りながら書くことも大事だという。自分と同世代の人の考えを知るために、錦城生には新聞の投稿欄を

しかし第2セットに入る、それまでとは打って変わってH組が猛攻を見せる。序盤から2人を一度に当てる、アウトさせることに成功。そこからF組の反撃をもととせず、果敢に攻めていくこと

クラス対抗の学年レクリエーション大会で総合優勝を収めたF組。HR委員の石田来璃さん(2F)は「まさか優勝できるなんて思っていなかった」と話す。最後に2人は「もう一度優勝したい」と話した。

「団結力が深まってよかったです」
6月18日(金)に、錦城を受験する中学生のための新たな取り組みが導入された。このことについて入試調査部の先

緊張に影を受けてしまった経験がある。例えば先で行われた球技大会では、試合前は体を自由に動かすことができたが、いざ試合が始まると足が重く感じ、思うように動けなかった▼スポーツの試合やテストの前にも、よく「過度な緊張感を持ちましよう」と言われる。緊張しすぎず、かつ気持ちを緩めすぎずという意味だが、この「過度」とはどのくらいなのか、ずっと疑問に思っていた▼インターネットで調べてみると、面白い文庫を見つけた▼あるHPによると、緊張にはパフォーマンスタップという「過度の緊張」が「過度な緊張」とネガティブな影響をもたらす「過度な緊張」の範囲はそれと異なる▼「過度の緊張」が「過度」の範囲はそれと異なる▼「過度の緊張」が「過度」の範囲はそれと異なる▼

クラス対抗選抜リレー
リレーは2ブロックに分けて予選が行われ、各ブロック上位2クラスと3位以下のタイム上位2クラスの合計6クラスによる決勝戦で順位が決

で浮上、一気に形勢が変わった。しかし、続く第6走者でF組が再びトップに立ち、G、C組が再度2位を争う。終盤でも順位は激しく変動。第7走者で再度C組が首位に立ち、第8走者でF組が首位に立ち、第9走者でG、D組がC組に続き2位争いに加わった。このままF組がトップを守り切りフィニッシュ。その後、最後までG組とC組が激しく競り合ったが、G組が2位争いを制した。最終的な順位は1位F組、2位G組、3位C組、4位D組、5位K組、6位H組となった。

HR委員 優勝の秘訣を語る
クラス対抗の学年レクリエーション大会で総合優勝を収めたF組。HR委員の石田来璃さん(2F)は「まさか優勝できるなんて思っていなかった」と話す。最後に2人は「もう一度優勝したい」と話した。

「団結力が深まってよかったです」
6月18日(金)に、錦城を受験する中学生のための新たな取り組みが導入された。このことについて入試調査部の先

熱中症から身を守るコツは?

気温が上昇しつつあるこの時期。気を付けたいのが「熱中症」だ。今回は錦城で行われている独自の熱中症対策や、予防のために大事なことについて養護の水田みゆき先生にお話を伺った。
2019年は35名が熱中症に罹患。体育や部活動が通常通り行われていたため、部活動中に発症するケースが多かったという。特に屋外競技や冷房の効かない場所で室内競技を行う部活動は熱中症になるリスクが高いそうだ。水田先生は「外周走での罹患が多いです。1周走りきりまでやめられないのに加え、途中で体調が悪くなってもすぐに学校に戻れない状況が熱中症になりやすい原因です」と語る。体育の授業で発症するケースも多く、理由として運動に不慣れであることや朝食欠食、睡眠不足があげられる。
効果的な予防法として、水分補給はお茶や水ではなくミネラルを補えるものにしたほうが良いという。さらに、お互いの体調を気遣い合える環境づくりも大切だ。水田先生は「熱中症は対策不備がもたらす大災害です。防ぐことができます」と話す。「万が一、熱中症と疑われる症状が出た場合、保健室と職員室、体育教員室ではOS-1や塩分タブレットの提供を行っています」と語った。もし自力での飲水ができない場合は、先生の救護を待たずに迷わず119番通報をすることが大事という。(香)



「体調が悪いと感じたらすぐ保健室へ来てください」

未来の後輩のための新システム
6月18日(金)に、錦城を受験する中学生のための新たな取り組みが導入された。このことについて入試調査部の先

HPで校内見学可能に
今回導入された「360度バーチャルツアー」は錦城のホームページ(以下、HP)で校内の360度写真や学校紹介動画を見ることができるようになった。導入した理由について福江幸喜先生は「錦城を受験予定の中学生が新型コロナウイルスの影響で自由に校内を見学することができなくなったからです」と話す。実際に利用してみると、錦城の施設の360度写真や写真についているアイコンをタップすれば錦城の紹介動画や施設の説明を見ることができ、家で学校見学をしているようだった。
公式LINE設立
錦城のHPから友だち追加されないように頑張ってくれたおかげだと思えます」と話した。この日は朝方に雨が降っており、止んだ後は58回生の先生方だけでなく、多くの先生方が水抜きをしてくれておかげで、リレーが開催できると決まったと、石田さん「元々この行事は校外学習の代替行事として行われたもの

